アニメ野生のさけび（1982）

メディア TV　アニメ
ジャンル ドラマ
製作国 日本
TV放映 1982/05/05 ～ 1982/09/25
テレビ東京

【解説】
　昭和期の文壇で活躍し「椋鳩十児童文学賞」に名を残す作家・椋鳩十（むく・はとじゅう）の著した動物文学を原作とする、毎回一話完結のTVアニメシリーズ。山から拾われてきた一匹の子ギツネ。だがなかなか人間の餌づけを受け入れず、何も口にしようとしない。しかし日にちが経ってなお、なぜか子ギツネは元気だった。実は、人間に捕まった子ギツネを心配したキツネの両親が、夜間、人目を盗んで子供のもとに餌を届けに来ていたのだ……。（「金色の足あと」）。アニメ制作は『合身戦隊メカンダーロボ』『アンデス少年ペペロの冒険』の和光プロダクションが担当。メイン脚本家は、タツノコプロやサンライズの諸作で活躍の鳥海尽三。1970年代の深夜ラジオ番組『たむたむたいむ』（ニッポン放送）のDJとしても大人気だった放送作家・かぜ耕司が、主題歌「愛する地球（ほし）の上で」の作詞を手がけている。

【クレジット】

監督	大町繁
	玉沢武
製作	江津兵太
	高橋澄夫
	郷田三朗
原作	椋鳩十
脚本	海老沼三郎
	鳥海尽三
	山中延高
作画監督	鈴木康彦
ナレーション	牟田悌三
声の出演	久世龍之介
	益富信孝
	植田敏生
	立沢雅人
	田中耕二

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.